

音楽フェスティバル「ワークショップ」
「音楽でつなぐ世界の和」
ワークショップ

日本音楽の原点 雅楽を知ろう!!

2021 10.29
ルネスホール
(あかやま日曜ホール) 岡山市北区山下1-6-20

13:00開演(12:00開場)
入場料: 500円(先着100名)
出演: 雅楽五声会(雅楽演奏)

主催: 雅楽五声会
協賛: 岡山県立文化芸術センター、岡山市芸術祭、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター

演奏曲: 「平調音取」「越天楽」「王 昭君」 出演: 雅楽五声会
指揮: 片山 康之 (演奏) 小坂 俊郎・種崎 善行 (演奏) 大越 浩伸 (演奏) 藤原 達
(演奏) 尾崎 洋志 (演奏) 藤原 豊久 (演奏) 豊崎 善行 (演奏) 石井 直貴

「音楽でつなぐ世界の和」
2021年10月30日
ルネスホール

	1部席	最上席
前席	3,000円	5,500円
特別席	1,500円	2,500円
一般席	2,700円	5,000円
後席	3,500円	6,500円
特別席	2,000円	3,500円
最上席	3,000円	5,500円

主催: 岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター
協賛: 岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター
後援: 岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター、岡山県立文化芸術センター
お問い合わせ: 岡山県立文化芸術センター 電話: 086-24-1297 (夜間) 086-4663-5991 (夜間)
岡山県立文化芸術センターウェブサイト: <http://www.o-cen.or.jp/>



団体名 岡山県演奏家協会	代表者 佐々木英代	記載者 岡本都
所在地(市区町村名のみ) 岡山市		
活動目的 演奏することと演奏家相互の音楽的教養の向上を図ること、また、演奏会に対する後援をし、演奏家を目指す人を応援するなど、地方音楽文化の発展に寄与する事。		
団体の紹介 ピアノ、声楽をはじめ、管楽器、弦楽器、打楽器、和楽器、オカリナなどの民族楽器からチェンバロなどの古楽器まで、岡山県をはじめ、国内、国外で活躍する演奏家約45名が在籍している。 「ショパン没後170年記念コンサート」「チャイコフスキー生誕180年記念コンサート」などの企画コンサートの他、「ヴァリアスコンサート」「岡山県新人演奏会」なども定例コンサートとして毎年開催しており、会員はこの様な演奏会などを通して交流を深め、切磋琢磨しながら音楽家としての資質を高め、地域の音楽文化向上に貢献している。		
助成を受けての活動内容 「音楽でつなぐ世界の和」コンサートのワークショップとして「日本の音楽の原点 雅楽を知ろう!!」をルネスホールで開催した。 雅楽の演奏を鑑賞するに当たっては、宮内庁式楽部の演奏場を模して緑の敷物を敷いたステージに楽太鼓、鉦鼓、鞆鼓、楽箏、樂琵琶を並べ、参加者が間近に宮中の雰囲気を感じられるよう設定した。平安時代の装束に身を包んだ「雅楽五声会」の方達の登場の後、まずは管弦の演奏で『平調音取』『王昭君』『越天楽』などの曲を鑑賞した。続いて舞楽のジャンルでは、装束をつけた『蘭陵王』に登場してもらい、絢爛豪華な舞楽の装束や面を目の前でじっくりと、細部にわたり鑑賞することができた。続いて歌曲のジャンルでは、珍しい和琴が披露され、神楽歌が2曲演奏された。その内の1曲は宮中祭祀に使われるもので、一般国民は決して見ることはできない世界であるとの説明に、観客はいよいよ興味を駆り立てられながら鑑賞した。 「体験コーナー」では、龍笛18管、箏13管、笙2管を用意し、手に取って見られるようにしたほか、楽箏、樂琵琶、鞆鼓、太鼓、鉦鼓などもそれぞれの楽器の周りで演奏者を囲んで、近くで楽器を見たり、触れられるものは手に取ったり音を出したり、また、目の前で演奏者に演奏してもらい、説明を聞いたりした。参加者はとても積極的に熱気に包まれ、盛り上がった体験コーナーであった。入場者86名		
助成を受けての成果 とても好評で、雅楽の魅力を堪能してもらえた。テキストとして「プログラム」と「曲目解説」「演奏者紹介」の他、「雅楽の概要と形態」「雅楽の楽器紹介」「雅楽が語源の身近にある言葉」からなる冊子を作成して配布すると、多くの方が興味深く、熱心に読み進めて下さっていた。雅楽がまるで別世界のものではなく、現在も日常の中に息づいていることも分かってもらえた。 演奏者への謝礼や体験用の楽器の借用料など相当な経費を必要としたので、助成金があればこそ開催できた取り組みであった。参加者の雅楽や日本音楽に対する認識が変わり、今後ますます雅楽に興味を持ち、愛好してもらえるという、大きな手応えがあった。		
今後の活動の課題点 折角体験用の楽器を豊富に揃えたけれど、コロナ感染予防のため、吹いて音を出すことができなかったのは残念であった。是非ともまたその機会を作り、さらに多くの方に日本音楽の原点としての雅楽の魅力を伝えていくことが今後の課題である。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) 事務局 086-225-4524(平田方) HP http://www.o-ennsouka.jp		